

令和8年2月8日執行

衆議院小選挙区選出議員選挙公報(第11区)

秩父市・本庄市・深谷市・横瀬町
皆野町・長瀬町・小鹿野町・東秩父村
美里町・神川町・上里町・寄居町
埼玉県選挙管理委員会

日本列島を、強く豊かに。



強く

① 大胆で戦略的な「危機管理投資」

➡ 我が国の自立と主権確保のため、AI・半導体、造船、量子、バイオ、宇宙等の戦略分野に対して、官民連携による大胆な「危機管理投資」を進める

② きめ細かな国土強靱化により人命を救う

➡ 議員立法（私が起案）により法改正を行い、新たな中期計画（5年間・20兆円超）を策定

略歴

●1952年9月生まれ（本籍：秩父市中町） ●1975年 東京大学法学部卒・大蔵省入省 ●1996年 大蔵省退官
●2000年 衆議院選挙初当選 ●2023年 法務大臣 ●2024年 衆議院選挙当選（8期目）

豊かに

① 飲食料品消費税率をゼロに（1月19日高市総理表明）

➡ 物価高による家計の負担を軽減するため、飲食料品について消費税率をゼロにする（2年間）。高市内閣がこれまで講じた物価高対策と合わせ、家計をしっかりと下支えする。財源やスケジュールについては、今後設置される国民会議において、早急に検討を行う

② 「失われた30年」－ 静止した経済を再起動

➡ 経済の停滞により若者の未婚化や晩婚化も進行。大企業に蓄積された内部留保を家計に還流させる仕組みを導入すべき

<https://www.ryuji.org>

こいずみ
小泉りゅうじ

48歳・会社経営・3児の父

「誰と組むかより、何を成し遂げるか」～対決より解決の政治へ～

「ふせ たかひと」は、3つのことを必ず実行します。

さらに 手取りを増やす

国民民主党の『手取りを増やす』をさらに前へ。
三児の父として現役世代や子育て世帯の厳しさを実感。次の30年は、失われた30年を繰り返さない為、若者が未来に希望を持てる日本をつくる。

中小企業 への成長投資

日本企業の99.7%を占める中小企業を元気にする。
経営者として今の現場を知る立場から、延命型支援を改め、DX・AI導入と成長分野への集中投資を推進。
稼ぐ力を高め、持続的な賃上げを実現する。

古い政治から 新しい政治へ

世界40カ国、日本47都道府県を見てきた。今の政治のままだと日本は衰退する。しがらみと先送りを終わらせ、実際の現場を知る世代が決断する政治へ。
埼玉11区から、新しい政治への転換を実行する。

次の30年は、
私たちが変える。

実現力で

国民
民主党
こく
みん
が、実現してきました

実現済 「年収の壁」
178万円に
引き上げへ！

実現済 ガソリン・軽油の暫定税率
50年
ぶり
廃止！

さらに、
増やす。
手取りを



国民民主党

ふせ
たかひと

島田まこと プロフィール

- 1958年 寄居町生まれ。熊谷高校、千葉大学園芸学部園芸経済学科 卒業（在学中は有機農業を系口に、エコロジーと社会経済の調和・融合を探究する）。卒業後は熊谷市役所に勤務し、企画課、都市計画課、情報政策課などの第一線で、政策立案・事業化・システム開発などに従事。
- 2006年 48歳 寄居町長選挙に挑戦するも惜敗。明治大学・公共政策大学院にて公共政策学修士の学位を取得。
- 2010年 52歳 寄居町長選挙 初当選（任期4年）。

家族構成
父（横瀬町出身）、母（深谷市出身）、妻（皆野町出身）、子ども3人（自立）。現在は妻（東秩父村・長瀬町・皆野町の元小学校教諭）と2人暮らし。

島田まことの政策3つの基本姿勢

- ① 幸せを感じられる豊かな社会づくり
- ② 共生と循環で、持続可能な地方・都市づくりと国際社会づくり
- ③ 立憲平和主義

島田まことはこう考えます！

- 生活者ファースト
- 物価高に立ち向かうために
消費税率を5%に、食料品は0%に
まっとうな政治づくりのために
すべての政治活動費の公開を
企業・団体献金、政治資金パーティーの廃止
- 持続可能な地域経済のために
中小企業・個人事業者を支援する地域経済自立・循環支援体制の確立
大規模・IT化農業作りの支援にくわえ、中小農林業の存続と後継者の育成
埼玉県北の特性を生かした、多様な自然エネルギー創出によるビジネスづくり
- インボイス制度の廃止
- 若者の人生を応援するために
若者支援法を制定し、全国の自治体で福祉では大きな力となっている「社会福祉協議会」のように、「若者支援協議会」を設置し、若い人たちの様々な課題を応援サポート。
- 女性の地位向上のために
さらに進めるために、政治をはじめ各分野の女性の割合を法律で義務化
- 高齢者の幸せのために
健康で元気に生きがいをもって地域で生き続けられるように、新たな相互扶助の仕組みづくり
- 少子化のために
子育てにかかわる社会サービスを積極的に準公共サービス化。きめ細かな支援で、子育て世代を国をあげて強力にサポート
- 平和を守るために
今の平和憲法を尊重し、全方位外交対話重視で国際関係の構築を



中道改革連合公認
島田まこと
しまだ

第11区の選挙区域



18歳から投票できます。



2月8日(日)は投票日

期日前投票期間 1月28日(水)～2月7日(土)

小選挙区選挙は、候補者名を書いて投票します。

投票用紙は、浅黄色です。

投票所入場券が無くても、本人確認ができれば投票できます。

埼玉県選挙管理委員会では、選挙速報をホームページで公表します。

埼玉県選管

検索

埼玉県選挙管理委員会

令和8年2月8日執行

衆議院小選挙区選出議員選挙公報(第11区)

秩父市・本庄市・深谷市・横瀬町
皆野町・長瀬町・小鹿野町・東秩父村
美里町・神川町・上里町・寄居町

埼玉県選挙管理委員会

中小企業支援で/

物価高にみあう
大幅賃上げ

最賃1500円、全国どこでも
手取り月20万円をただちに

社会保障の充実で/

医療・介護の危機打開を

OTC類似薬の患者負担増ストップを

願いをこめた一票は

比例代表は **日本共産党**

小選挙区は **柿沼はるき**

とお書きください。

原発ゼロ・気候危機の打開、
エネルギー・食料の自給率向上を

- 農業を国の基幹産業に位置付けて、食料自給率を早急に5割に
- 暑すぎる夏に居場所になる冷房の効いたフリースペースを増やし、体育館へのエアコン設置を
- 増える年金、「頼れる年金」へ
- 高等教育無償化へ、タブレットなど教材費負担の軽減を
- 入学金廃止、学校給食費の無償化を

憲法9条にもとづく外交の力で平和をつくる
大軍拡よりいのち・暮らし優先を

教育、医療、介護、農業の予算を増やそう

自民党政治とブレずに対決
憲法をまん中にした共同を

食料品の消費税ゼロ

はもとより **インボイス廃止**

5%緊急減税を

年11兆円の大企業への減税バラマキやめれば、消費税の緊急減税5%を実現し、消費税の廃止もめざすことができます。

増え続ける
大企業減税

2013年 2018年 2023年



財源は
ココに

法人税率引き下げと優遇税制の
効果(2023年度は推計)

柿沼はるき
プロフィール

- 1983年東京生まれ●本庄第一高校卒業／岐阜聖徳大学教育学部卒業
- 本庄児玉・深谷で小学校教諭、民青同盟埼玉県委員会勤務を経て
- 現在 埼玉北部地区委員会勤務／副委員長／2024年11区に立候補



日本共産党
柿沼はるき
かきぬま遥輝

I am **ひとりひとりが日本**
“3つの柱と9の政策”

1の柱 **日本人を豊かにする**
～経済・産業・移民～

1 “集めて配る”より、まず **減税**
減税と社会保険料の削減により、国民負担率を35%に抑え、積極財政による経済成長で国民の豊かさが持続的に高まる経済構造を実現します。

2 日本はまだ間に合う **“NO! 移民国家”**
労働力不足の解決を、安易な移民依存に委ねません。適正な人口計画を立て、外国人労働者の受入れと外国人の土地取得を制限します。

3 **現場の人**が支える日本
製造業、建設業、運送業、医療介護福祉や警察・消防・自衛官等、現場で汗をかく方々の待遇を改善し、安心して働ける社会をつくります。

2の柱 **日本人を守り抜く**
～食と健康・一次産業・エネルギー～

4 **食**は人の天なり
食を守ることは国家の安全保障そのものです。食の安全を向上させ、食料自給力を高め、国民が決して飢えることのない体制を整えます。

5 **エネルギーと資源確保が生命線**
諸外国も見直しを進めている脱炭素政策を再構築します。再エネ賦課金を廃止し、安く、安全で安定したエネルギーを国内で確保します。

6 **安心医療で健康国家**
過剰な医療や非効率な仕組みは見直しつつ、予防を重視した体制へ転換し、子どもから高齢者まで、すべての人の健康と安心を支えていきます。

3の柱 **日本人を育む**
～教育・人づくり・国家観～

7 **子ども一人につき月10万円**
0～15歳の子ども一人につき月10万円の教育給付金を支給し、若者が子供を授かり育てたいと思える環境をつくります。

8 **受験戦争からの解放**
偏差値重視の教育から脱却し、ひとりひとりの個性、強みが正当に評価される教育へと転換します。健全な人格を育む場にします。

9 **日本はみんなの家**
日本の国力が衰える中で、国際情勢も緊迫してきました。「ひとりひとりが日本」という意識改革を起こし、日本の豊かさと平和を守ります。

比例は **参政党**

とお書きください。

参政党の政策は▶
こちらの特設サイトから！



かいたかし プロフィール 昭和47年生まれ | 建設業経営 | 「内需の国」日本のために『積極財政・消費税一律廃止』。子々孫々豊かに暮らせる日本のために、自然に守られ物流豊かな埼玉11区のエネルギーを国政へ届けます。『まっすぐ、一生懸命に未来へ』大人の責任を果たします！



かいたかし
参政党公認

第11区の選挙区域



18歳から投票できます。



2月8日(日)は投票日

期日前投票期間 1月28日(水)～2月7日(土)
小選挙区選挙は、候補者名を書いて投票します。

投票用紙は、浅黄色です。

投票所入場券が無くて、本人確認ができれば投票できます。

埼玉県選挙管理委員会では、選挙速報をホームページで公表します。

埼玉県選管

検索

埼玉県選挙管理委員会